

羅針盤



2018年10月26日(金) 第64号

＝ 10月のことば ＝

文化、宗教、信念が異なろうと、大切なのは苦しむ人々の命を救うこと。自分の国だけの平和はありえない。世界はつながっているのだから。 緒方 貞子(1927～、元国連難民高等弁務官(1991～2000))

それぞれの目標に向かって前へ！

＝ 17期生諸君、受験生になれ！ ＝

2年生の後期に入り、10月も既に下旬。時間的な量で言えば、高校生活の折り返し地点を過ぎている。それぞれの進路希望実現、夢の達成への道のりという視点で見れば、17期生諸君はどの位置に立っているだろうか。受験生だという意識で前を向いているだろうか。

24日(水)に進路講演会を行ったのは、上に述べたような思いがあるからだ。河合塾から河邊一郎先生をお招きし、入試制度の仕組みや、受験で失敗しないための心構えや準備についてお話を伺った。冒頭に河邊先生が「3年生の先輩方は既にセンター試験の出願を終えている。ということは、皆さんも来年の今頃には志望校が固まっていなければならない」と話されていた。自分の置かれた状況が、はっきりと自覚できたのではないだろうか。河邊先生の話された『受験生の三禁』を記しておきたい。以下は『三禁』だからやってはいけないことだ。

- 一、安易に志望を下げる。
- 一、安易に受験科目を減らす。
- 一、自分を安売りする。(安易に推薦に逃げる)

先生が繰り返し強調していた『志望レベルを下げると、努力のレベルも低下する』という言葉に込められた考えは、見てきた受験生の姿が裏付けとしてある。どんな世界にも当てはまるのではないだろうか。低い目標を設定したら“それなりの努力”しかない。17期生諸君、自分の伸びしろを信じ、努力せよ。

10～11月	曜日	行事等	週末課題等の予定	朝学習
27日	土	全統模試(希望者)	国・数	
28日	日			
29日	月		国提出	数学
30日	火		数Ⅱ提出	英語
31日	水	ふくしま教育週間・授業参観 「市政への提言」発表会(5～7校時)		国語
11月1日	木	ふくしま教育週間・授業参観	数B提出	総合
2日	金	進研模試(放課後)		英語
3日	土	進研模試 「文化の日」	国・数	
4日	日			
5日	月		国提出	数学
6日	火	芸術鑑賞教室(授業3校時)	数Ⅱ提出	英語
7日	水	薬物乱用防止講話		国語
8日	木		数B提出	総合
9日	金	甲状腺検査		英語
10日	土	大学共通テスト(プレテスト)(申込生徒)	数・英	
11日	日			

☆進研模試(11/2～3)

初めての5教科模試になる。受験を意識し、繰り返し既習事項を復習する習慣を身に付けよう。目標に近づくための学習習慣に変えていこう。

☆プレテスト(11/10、日大工)

新しい大学入試に向けた試行テスト(プレテスト)に、80名の諸君に参加していただく予定です。事前にガイダンスを行います。(11/10当日は13:00集合、17:45解散の予定です)

『市政への提言 2018』 提言発表会

- 1 期 日 平成30年10月31日(水)
- 2 時 間 13:05~15:55(5~7校時)
※13:30開会、15:35終了予定です。
※休憩をはさんで班ごとの発表を行い、その後、郡山市役所の職員の方から講評をいただきます。市長さんも来られる予定です。
- 3 場 所 本校第一体育館
- 4 その他 当日は授業参観日にもなっています。ぜひ保護者の皆様にもご覧いただきたいと思います。なお、校地内の駐車はできませんので、お車での来校はご遠慮くださいますようお願いいたします。

「アメリカでの体験から学んだこと」

4組 阿部 千夏

私は今年の夏、渡米リーダーシップスキルを学ぶプログラムに参加した。ずっと憧れていたアメリカに行くチャンスがもたらされた時には本当に嬉しく、渡米前からアメリカでの生活を想像しワクワクしていた。8月22日出発の日、東北3県100人の高校生と出会い、4つのチームに分かれ3週間を共にした。私はここでかけがいのない友達と出会うことができ、日本とアメリカの差を感じ、「リーダー」とは「地域貢献」とは何かを学び、自分のやりたいことをやる、毎日120%で生きることを学んだ。アメリカは自由だ。でも個人が責任を持っていて、自分というものを持っている。だから同い年で起業したりしてる人がいたりする。日本の若者は遅れていると感じた。授業中は絶対に寝ない。眠くなったら立ち上がったたり、食べ物を食べたりしていい。日本ならマナーが悪いと言われるかもしれないが、私は寝てしまうくらいなら、そうして授業を受ける方がいいと思った。地域貢献の授業では、自分の県の長所・短所を考え、SWOT分析を行ない、英語でプレゼンテーションを行った。実際にアメリカの荒れている町に行き、その町を良くするためには…とチームで考え、ペンキで壁画アートをし、交流を深めた。ホームステイ先の家庭はLGBTのおばあちゃん2人の家だったり、道端に様々な人種のホームレスの人がいてお金を求めてきたり、本当に多国籍だなと思った。アイスクリーム・ソーシャルといって、バケツに入ったアイスをみんなで食べたり、ダンスパーティー、野球観戦など楽しい思い出も沢山できた。帰国後も、私にはアクションプランといって自分の町を良くするための取り組みを行う。チームでやってきたことを、次は一人で。アメリカで学んだことを生かして、貢献していきたい。

東北から集まった高校生だから、津波で両親を失った人も沢山いた。県内でも震災に対する意識の差があり、私は改めて、今からでも援助してあげたいと思った。

《17期生保護者の皆様へ》

「進路講演会」で配布された資料には、『受験生の保護者になるために』というテーマで、保護者向けにまとめられた部分があります。お子様が持っていますので、ぜひご覧ください。